

真直度測定器 真直度テスター

取扱説明書

「正しくお使いいただくために、必ずご使用前には、この取扱説明書をよくご覧の上ご使用ください。
またお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管して下さい。」



安全上のご注意

※ご使用の前に、この **取扱説明書** をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危険を未然に防止するためのものです。

※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをした場合に想定される内容を **危険** **警告** **注意** の3つの区分にしています。

安全に正しくお使いいただくために	
この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、お客様への危害や損害を未然に防止するために、本文中に色々な図記号や絵表示を示しています。 その表示と意味は、次のようになっています。 ● 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。 ● お読みになった後は、この製品をお使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。 ● 全て安全に関する内容ですから、必ずお守りください。	
 危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が生じる切迫の度合いが想定される内容を示しています。
 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性、或いは物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
図記号の例	 △ 記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを知らせるもので、図の中に具体的な注意内容が記載されています。 (左図は、特定しない一般的な危険・警告・注意の通告に使用)
	 ○ 記号は、禁止の行為であることを知らせるもので、図の中や下部等に具体的な注意内容が記載されています。 (左図は、特定しない一般的な禁止の通告に使用)
	 ● 記号は、行為を強制する内容を知らせるものです。 図の中に具体的な強制や指示の内容が記載されています。 (左図は、特定しない一般的な強制や指示に使用)

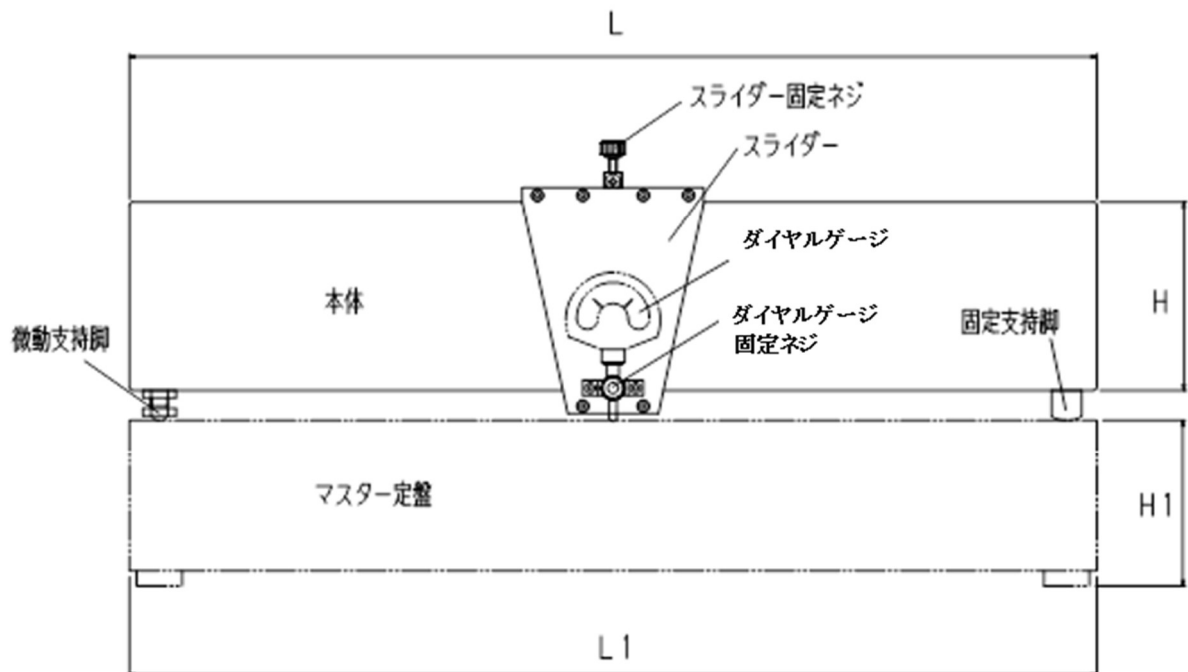
真直度テスター 取扱説明書

1. 製品の特長

- ・石製の基準ストレートエッジには、下面に3点支持の脚が設けられており、安定した測定が可能です。
- ・精度面は高精度かつ軽量に仕上げられており、取り扱いも容易です。
- ・スライダーを移動させることで、真直度の測定が簡単に行えます。
- ・あらかじめマスター定盤で“0”セットを行うことで、ワークの絶対値測定が可能です。
- ・また、ダイヤルゲージの代わりに外部出力付きのプロープを使用すれば、データの自動処理や記録も行えます。

※ダイヤルゲージは付属していません。

2. 各部の名称と姿図



3. 仕 様

本体

コード No.	呼び寸法	寸法 (L×H×W mm)	有効測定長さ (mm)	真直度 (μ m)	質量 (kg)
CA101	500	640 x 60 x 125	500	2	18
CA102	1000	1140 x 60 x 125	1000	4	30

マスター定盤

コード No.	呼び寸法	寸法 (L1×H1×W1 mm)	平面度 (μ m)	質量 (kg)
CA201	500	640 x 125 x 110	1.5	25
CA202	1000	1140 x 125 x 110	3.0	44

4. 使用方法

- ① マスター定盤を格納箱から取り出し、上面の精度面をきれいに拭いてください。
- ② 真直度テスター（以下「テスター」）を同様に取り出し、支持脚を清掃し、マスター定盤上に設置します。
- ③ スライダーにダイヤルゲージを正しく取り付けます。
- ④ スライダーをマスター定盤上で移動させながらダイヤルゲージの値を読み取り、マスター定盤の実測値と比較してテスターの真直度を確認します。
両端の測定値がゼロ（またはそれに近い値）でない場合は、微動支持脚をスパナで高さを調整してください。調整後は、必ず固定ネジで微動支持脚をロックしてください。
- ⑤ テスターを測定対象のワーク上に設置します。
- ⑥ スライダーを移動させ、ワークの真直度を測定します。
- ⑦ テスターの基準値と測定値を比較し、ワークの真直度を算出します。
- ⑧ ダイヤルゲージを取り外し、テスターをきれいに拭いて格納箱に収納してください。
- ⑨ マスター定盤も清掃後、丁寧に格納箱へ収納してください。

5. 使用上の注意

- ① ご使用前に測定器の底面及び基準ガイド面をきれいに拭いてください。
- ② 使用するときや保管時に本器に衝撃などを与えないよう注意して取り扱ってください。
- ③ 使用するところの温度になじませてご使用ください。
- ④ 温度変化の甚だしい場所等での使用や保管はしないで下さい。
- ⑤ 温度変化のある場所で使用するときは、マスターアングル等で頻繁に点検してください。
- ⑥ 無理な荷重や衝撃などを与えないよう注意してください。
- ⑦ 震動等のある場所に置かないでください。
- ⑧ 使用後は必ず防錆処理を行い、格納箱に保管して下さい。
- ⑨ 以下のような場合には、本器の異常の有無を確認してから使用してください。
 - ・ 本器を落下させたとき。
 - ・ 本器上に物を落下させたとき。
- ⑩ 定期的に異常の有無を確認して使用してください。
- △ ⑪ 製品に鋭利な部分がある場合は、取り扱い時に指や体の他の部位を傷つけないよう注意してください。
- △ ⑫ 必要に応じて保護手袋や保護眼鏡を着用して作業を行い、怪我を防いでください。
- △ ⑬ 損傷または劣化した本品を使用しないでください。怪我や事故の原因となる可能性があります。
- △ ⑭ 怪我が発生した場合は、直ちに応急処置を行い、必要に応じて医師に相談してください。

JIS 認証取得工場



株式会社 大菱計器製作所

OBISHI KEIKI SEISAKUSHO Co., Ltd.

本 社 〒940-1164 新潟県長岡市南陽 1 丁目 1216-1

工 場 TEL (0258) 22-1100 FAX (0258) 22-0014

東京営業所 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3 丁目 5 番地

TEL (03) 3293-8881 FAX (03) 3293-8884

名古屋営業所 〒460-0015 愛知県名古屋市中区大井町 3 番 15 号 日重ビル 2F

TEL (052) 322-4031 FAX (052) 322-5647



■ 本社・工場

■ 精密測定機器の設計・開発、製造ならびに校正サービス

(水準器、定盤、直定規、測定基準器、直角定規、ブロック、
ダイヤルゲージスタンド、コンパレーター、偏心検査器、直角度測定器)

ISO9001 認証

JQA-QMA11294